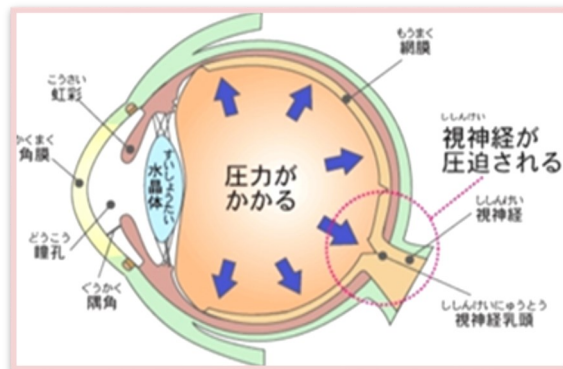


## 定期的な眼科健診してますか？

### 緑内障ってどんな病気？

緑内障は、眼圧で視神経が傷つき、視野が狭くなっていく病気で、失明原因の第1位です。まぶたの上からそっと目をさわるとわかるように、眼球は空気の詰まったボールのように張りがあります。これは眼球の中の圧力が外よりも高く保たれているからです。おかげで体を動かしても眼球の形が変わらず、きちんとものを見ることができます。ところが、眼球の後ろにある視神経はとても繊細で、眼圧に耐えられないと押しつぶされて、傷ついてしまいます。残念ながら傷ついた視神経は元に戻りません。その結果、大事な視神経の数が減って、視野がだんだん欠けていきます。これが「緑内障」です。



### 40歳以上の20人に1人は緑内障 ほとんどが未治療

最新の調査によると「40歳以上20人に1人」の割合であることがわかりました。しかも眼圧が高めの人だけでなく、正常域の人でも緑内障を発症している人が多いことが特徴。そして問題は、これほどありふれている病気にもかかわらず、治療を受けている人がわずか1割程度ということです。残り9割の人は緑内障が未発見のまま放置されているのです。緑内障は症状が出ていてもなかなか気づかないことが多く、受診が遅れ、気づいたときには病状が進んでいることが少なくありません。

### 緑内障の症状の進み方は？

緑内障の中でも、多いタイプの開放隅角緑内障は10～15年という長い時間をかけて少しずつ進行していきます。そのため、初期の状態ではなかなか気づきません。人間は両目でもものを見ているので、片方の視野に見えないところがあっても、もう片方がそれをおぎなってしまうのです。また多くの方は、非常に悪くなるまで頭痛や眼精疲労の自覚症状がないため、発見が困難です。

緑内障の進行



**緑内障は定期的な視野検査を行い、  
進行していないかチェックすることが重要！**